

フィリピン、貧しい母子のための診療所・  
アエタ族の学び舎「チャレンジベース」会報在中



### 特定非営利活動法人 NEKKO

フィリピン、貧しい母子のための診療所/アエタ族の学び舎チャレンジベース

〒673-0433 兵庫県三木市福井 2093-16  
☎0794-60-2052 国際電話 63-919-967-7771  
Email: [nekkocfp@gmail.com](mailto:nekkocfp@gmail.com)

ブログ: <http://blogs.yahoo.co.jp/barnabaseriko>  
ブログ: <https://ameblo.jp/erikobarnabas/>  
<https://sakitamai.tumblr.com/>

コロナ防疫により、世界最長1年9ヶ月以上のロックダウン(都市封鎖)を続けているフィリピンより。



自分の体を信じよう、身体は常に治る方向で働いている！きれいな血が巡れば変化する！

交通事故でほぼ足が切断されてしまった男性、その場で救急隊が来るまで1時間ほど放置される中、何とか自分で止血し、千切れ反対方向に向いていた足を元のようにぐっとくっつけて道路上で待っていたそうです。(事故の写真は本当に反対向いていました。)無事に病院でつないでもらったのは良いけど、運動機能は戻りませんでした。しかし、本人が諦めず、何とか自力で歩きたいと願うクリニックに来ました。最初は全く足底が地面に付けることができなかつたのですが、上記の言葉を信じ、温め巡らせるセルフケアを続けました。徐々に血流も良くなり、今は短い距離なら、松葉杖一本で動けるまでに回復しています。目標は2022年を杖なしで歩くことです。



診察3回目時、右下肢斜めの傷から下の皮膚色も随分良くなりました。→

クリスマスカードは、チャレンジベースのアエタの子供たちと、クリニックで生まれた子供たち、元 WISH HOUSE の子供たちが楽しく作成しました。誰からのカードが皆さまのお手元に届くかは分かりませんが、どのカードも子供たちのこだわりと喜びと感謝がいっぱい詰まっています！今年も無事クリスマスを迎えられる事に感謝して、皆さまにお礼申し上げます！



前回の会報でお伝えしていた、ちょう君の父。家で最期の時間と言われている病院からの帰宅でしたが、企業様からご支援頂いているパイロゲン(パイロゲンは株式会社赤塚(akatsuka.co.jp))とバイオ・ノーマライザー(バイオ・ノーマライザー | 青パパイア発酵食品 | ホームページ(bio-normalizer.com))のおかげで回復して、家事ぐらいは何とか出来るほど体が回復しています。ちょう君、養育のための食費支援が行われ、食べ物に心配せずに療養で来たことも、大きな回復材料でした。感謝しております！



食費支援でふっくらして来たちょう父と酔っ払いダンスが上手なちょうくん



髄膜炎からの脳性マヒで目線もうつろだった女の子は、徐々に回復し今は左麻痺がありますが、日常生活は問題なくなりました。響くかどうかは、タイミング。

皆さまのご支援に感謝いたします。賛助会員の皆さま方に感謝いたします。

まだまだ助かる命があります。まだまだ患者は増え続けています。「フィリピン、貧しい母子のための診療所」はフィリピンの医療とは違うアプローチで、高額な医療費も、癒されない手当ても、不必要な処置もない貧しい人々でも付き合える医療を模索しています。

「フィリピン、貧しい母子のための診療所」は、皆様の会費、支援、寄付によって運営されています。多くの方々のお問い合わせにより、ネットバンキングにも対応できるようになりました。下記の振込先の情報をご確認ください。ゆうちょの当座預金口座ですのでご注意ください。皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

寄付金、義捐金を随時受け付けています。

★会員になってください。★賛助会員を募集しています。(年会費) 郵便局のゆうちょです！

個人...5,000円 企業...10,000円

店名	店番	記号	番号	預金種目	口座番号	振込先
099	099	0098-0	179028	当座預金	0179028	CFP



心臓奇形(心室中隔欠損症)のサム君、止血機能に異常あり、手術不可能？

サム君(12歳)の手術のための支援金、皆さまのおかげで早々に集まりました。感謝です！そして、担当医師にその旨を告げると、手術は早い方が良いし、内緒で「コロナ禍で全体的に手術件数が減っているの、手術成績の良い外科医が暇で良いタイミング！(内科医により)」、ものすごく運の良い子だ～！と思っていたら、神様？は違う課題をサム君母子、そして私たちへ用意されていたようです。これはサム君母子の12月までの日々の記録です。

[資金は集まった、よし、入院の準備だ！]

文盲のサム君母、サマル島から、「サムを助けたい！」の一心でこのソロン島スービックまでやってきました。次の課題は、マニラのハートセンターでの付き添いの役割を果たせるかどうかです。コロナ禍で病室付き添いは1人のみに



限定されています。入院をしたら、付き添いでも退院まで病室から出ることは許されません。病室に必要なモノが全て揃う訳ではないので、後方支援部隊は病院外で待機するしかありません。連絡ツールは携帯電話の通話のみ。後方支援部隊は、病室から連絡を受けて物品をその都度、病院入り口の受付に届けます。まず母が携帯電話を操作できないとサム君に必要な処方薬や飲料水なども、届ける事ができません。

入院が確定するまで、サム君にはどういう人が自分を応援してくれているのか知って欲しい、支援者の皆さまと ZOOM での応援交流の傍ら、サム君母にはスマホの使い方講習が繰り広げられていました。講師担当は絆サロンの美容師エレナさん。絆サロンは日本のウディーチキンというスーパー美容師さんの NPO の支援で立ち上がったアエタ族

の美容室です。サム君母が何度も「私にはできない・・・」と説明すら聞こうとせず、逃げ腰になる姿にエレナさんが根気よく「私もできないことが恥ずかしいから、スマホは使わずに逃げていた。スマホを持っていても2年もろくに使えなかった。でも私だけじゃなくて周囲の人も困るから、私も練習をしたのよ。あなたはもっと早くできる。だってこれが操作できないと、病院で水も食べ物も無くなってサムを助けられないのよ！」と熱血指導してくれました。サム君母、スマホで最低限の連絡ができるような操作を1か月で習得することに成功しました。

サム君母子が読み書き、計算ができない事実をみんなが心配していました。エレナさんたちは自分が同じような生き様だったので、余計にサム母子に思い入れをしています。手術が終わったら、ここスービックで術後を過ごす間に、サム君が読み書きできるように支援しようと、こちらはサマル島の言葉(ワライ語)ができる識字の先生の手配を進めていました。サム君支援は手術も勿論ですが、ゴールはサム君の人生にチャレンジと喜びが増える事ですから。



[10月31日から11月5日;第1回目の入院]

術前検査でいきなり止血機能に異常が発見されました。サム君は血友病？との疑いが。早速、血友病遺伝子の検査を受けました、結果待ちぼうけの日々(結果は2日後と言われたけど、結局6日かかりました)。入院費をだらだらと支払い続ける1週間でした。サム君は豪華な入院食や生まれて初めてのエアコンの暮らしを楽しみました。

[11月6日、マニラの血液内科専門医の診察へ]

血友病ではなかった！しかし、APTT(正常値:25.4-36.9)は毎日高値のまま。止血が困難になる可能性はあるので、手術前、手術中にも血漿や輸血で補えば、心臓カテーテル検査も手術も可能でしょう、と血液内科医からの GO サインが出ました。





[11月11日、今度こそ手術だ！の再入院]

まずはPCR検査、待合で結果を待つこと7時間。無事に陰性証明が出て入院手続き。早速、夕方から血漿の輸血が始まりました。そこで、悪寒、嘔吐、発熱が出現。血漿輸血でアレルギー反応が出て、サム君親子はこの症状を誰にも訴えませんでした。アレルギーが出ていたことが判明したのは翌朝でした。顔が腫れていることを医師が発見して、熱も出ていることで輸血、手術は中止と医師より電話で連絡を受け取りました。その後は、輸血アレルギーによる倦怠感や電解質異常を治療してから、退院。私は手術不能ならば、支援者の方に返金をしないと、考えました。



↑入院中の医師との対話は成り立っていなかったそうです。

問題はそれだけではありませんでした。文盲でド貧困育ちのサム君母、病院でも問題を起こしていました。とにかく意思の疎通が困難、一般常識もマネーも全くの異次元、病院のトイレやシャワーの使い方も分らなかったようで...

要するに、手術以前に最低限のコミュニケーションすらできない状態では、その先には進めない、ということです。ここまで、できないとは...という事態でした。



手術ができないなら生まれ故郷のサマル島に帰す？本当に輸血のアレルギーリスクだけで、手術はできないの？？返金方法を尋ねる私に、支援者さんからの返事の多くは「本当に他に何か道はないのですか？」という問いかけでした。日本では、自己血輸血や、人工血漿他、もしくは輸血しないで済むように手術を配慮するなど、手術を前提に対応策を講じる、つまり輸血問題だけで、手術をしないという選択肢はないと心臓外科の医師より伺いました。

手術不可能ではなく、もしや医師が手術を嫌がっている？これも違いました。サム君母が全く意思表示を医師の前で行えていなかったことが大きな手術中止の原因の1つでした。サム君母の気持ちを表現できる代弁者を、もう1人付き添うことはできないだろうか？専門医はハートセンターと相談すると言ってくれました。

そして手術不可になったことについて、サム君母は止血能力の問題は全く理解せず、「栄養失調でサム君の手術ができないなら、早くサマル島に帰りたい...」と言い出しました。栄養失調の支援はできる。なにより支援者さんも、何よりサム君自身がまだ諦めていない...その中でも帰る気満々だった、サム母を引き留めたのは絆サロンの美容師エレナさんでした。

天国への道はたくさんの看板があるから、文字を読めないと辿り着けない！？

エレナさん「ためよ、今帰っちゃ！サム君は12歳でしょ？あなたも字が読めないでしょう？2人とも今は問題なくても、死んだときに迷っちゃうわ！字を読めるようにならなきゃ！！」エレナさんは山で生まれ育ったド貧困のアエタ族です。小学校の先生から「小さい子や障害のある子は亡くなると、天国に連れて行ってくれるガイド天使がお迎えに来ます。でも10歳以上の子供は死ぬと、自分で天国への道の看板を読みながら進むしかないの。看板が読めないと天国へ行けず迷うのよ。イエス様は天国の中にいるから助けてくれないのよ！」...え？？そのなの...

でも、この話でサム母の意識が変わりました。サム君の手術が出来なくても、サムも自分も読み書きができるようにならないといけないんだ。どっちにしろ、コロナ禍でサマル島への移動も容易にはできません。



	Result	Units	Ref. Range
FACTOR 8	115	%	60 - 150
CONTROL	96		
FACTOR 9	95	%	60 - 150
CONTROL(F9)	97		

Activated Partial Thromboplastin Time (APTT)			
APTT	58.8	N	sec

Date Collected :	11/04/2021	11/01/2021	10/31/2021
Time Collected :	22:34	17:14	16:35
Episode :	213080655	213050227	213040385
APTT :	58.8	78.4	70.6

血友病の遺伝子検査  
止血機能を見る APTT の結果

[そして始まった、サム君、サム君母への識字教室]

絆サロンで、週に4回、識字教育のプロのマイエット先生による授業が11月23日から始まっています。サム君母子、付きっきりで教えてもらって二人ともとてもうれしそうに授業を受けています。ワライ語を時々話せることがより二人の笑顔を引き出しています。



鉛筆を握ることも嫌がっていたサム君母子が、数回の授業で文字を書けるようになってきています。日々様子はこちらにアップ中↓

Kazuva Tomita | Facebook

[手術中止と言われて私が考えた事]

12歳なのに学校で放置され続けた結果、自分の名前も正しく書けないやんちゃなサム君。母親のように自信がなく、相手の話を聞くこともできない人生では勿体ない、術後は識字授業を受けて...と計画していました。でも手術が中止に。帰宅を考えるサム君母に、まだ道があるかもしれないよ、と言っても、現地の医師が手術してくれなくては話にならないと半ば諦めていました。

ところが、手術できないという話があった時に、絆スタッフのエレナさん、ナンニさんは、蒼白になりました。「サムは手術できない(=死んじゃう)じゃあ、迷って天国に行けない！」彼女たちの熱意がサム君母子をここスービックに引き留めました。支援者さんたちの、サム君のために費用使って下さいというお言葉や、何とかできないのですか？という後押しが、当面識字教育を受けながら、栄養改善するにつながっています。

次の診察日が12月21日と決まりました。再チャレンジできるかどうか、ハートセンターでの付き添い人数の配慮などの結果も聞けるはず。今後の詳細などは、ブログで逐一報告していきます。また、ZOOM会などもやっていきたいと考えています。応援ZOOMにご参加くださる方、ご連絡いただけると嬉しいです！



### 会計報告、一次報告病院関係のみ

2回の病院支出合計:160,157 ペソ 約 36 万円(359425 円)でした。  
マニラへの5回交通費、付き添い(サム母)の食事、マニラに手外回りをするための宿泊費、外部処方薬代、血液内科医へ診察費、  
外注の血液検査、その他のもの合計8万円。でした。合計44万円使いました。

### 息継ぎを忘れるくらい怖かった。緊張が解けないお産は辛い！ たらい回しになった少数民族の産婦さん。

18歳のアエタ族の産婦。地域の保健センターではアエタの人々には、コロナ感染がないという理解(このあたりが突っ込みどころ満点)で彼らのお産を拒否はしません。(アエタ以外のフィリピン人は全員PCR陰性証明が必要)保健所に入れてもらった彼女でしたが、促進剤の点滴が入りませんでした。手足5か所、針刺し失敗すると保健所のスタッフは急に「あなたは早産だから、ここで産してはいけない、保育器がある大きな病院へ行きなさい」と追い出したそうです。そこから3時間かかる公立病院へ自力で移動、しかし病院では支払い能力がないを理由に門前払い、近くにいた人からここを紹介されたとやってきました。

可哀そうなくらい表情も硬く、身体もトライシクルの移動移動の夜風に当たり過ぎて冷たくなっていました。産婦を温め、マッサージし、クリニック到着から1時間足らずで2キロの赤ちゃんが誕生。2キロでしたが早産の兆候はなく正常産でした。移動のガソリンですっかりお金を使い果たしたと、ここで彼女の帰宅のための交通費や食べ物も持たせての帰宅の時は、見違える笑顔で帰って行きました。



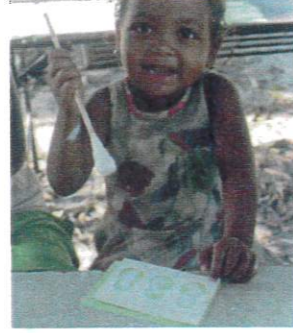
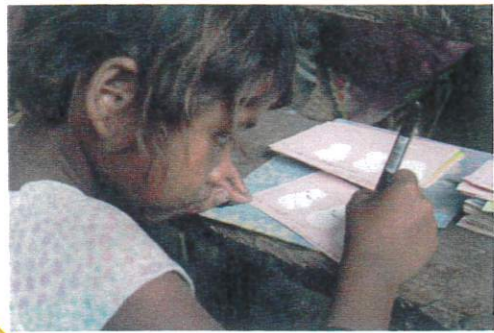


## 文字を書けない子どもたちがクリスマスカード作り頑張りました！

チャレンジベースでも3回目のクリスマスカード製作となり、子ども達も製作開始を心待ちにしていました。大きい子はとんとん村を離れているので、文字をスラスラと書ける人がほほい状態でしたが、子ども達と一緒に一枚一枚感謝の気持ちで製作しました。作業開始前に子ども達は手を洗っていますが、屋外で製作しているため、風で飛ばされて砂汚れがついたり、カードがヤギに食べられそうになりながらの作業でした。

一切文字を書けない子どもたちが、見よう見まねで Merry Christmas を書いているので、スペルはたいてい間違っています。また、まだ赤ちゃんの妹弟達が、横から邪魔をして余計な描き加えをしたり、最近ようやく色鉛筆を持ち始めた子どもが丸をたくさん描いているだけのカードもあります。クリスマスカードとしては完成度が低いですが、子ども達は普段なかなか見ることのない真面目な表情と集中力で、本当に一生懸命描きました。そして一枚描き終えるごとに、顔をあげて満面の笑みを見せてくれました。

目が合っただけで逃げていた子ども達が、「やってみよう！」と書けない文字を書き、絵具を扱い、雪だるまの顔を描きました。できるかどうか分からないことに挑戦できたこと、自分なりに納得のいく作品ができた時に味わった達成感、この経験が子ども達に自信をつけ、また成長する機会となりました。見た目は不格好ですが、どうぞ一度手に取り、何を書いているのか見て楽しんでいただければ幸いです。



### 👉 クリスマスカード解説のポイント 👈

- その1 鏡文字になっている場合がありますので、想像力を働かせ文字をひっくり返して読んでみてください。
- その2 文字を右から左に書いている場合がありますので、試しに右から読んでみてください。
- その3 下から上に向かって書いている場合がありますので、下の行から読んでみてください。
- その4 「+」に見えるものは X'mas の「X」です。
- その5 何も書かれていないように見える箇所に、薄く弱々しく見えにくい色で書いている場合がありますので、カードの角度を変えて覗き込んだり、光に照らしながらみてください。

### ChallengeBase 雑談会やってます！～毎週日曜日 日本時間 13時～

オンラインのお話会で、日々の活動報告やサキが現場で感じた思いなどを、雑談トークで支援者の皆様と共有する場です。サキへの質問、活動に関する疑問等がありましたら、その場でお答え致します。現場ならではの、日本では想像もつかない話も出てきますので、ぜひ非日常に触れにきてください。皆様のご参加をお待ちしております。録画もご視聴いただけます。詳細は各種 SNS に記載しておりますが、お気軽にご連絡ください。

#### チャレンジベース現場責任者サキの連絡先

メールアドレス nekko.saki@gmail.com 電話 +63 09182087311

各種 SNS で活動の様子を配信しています。友達登録、いいね、シェアもよろしくお願いたします！



ホームページはこちらから！

チャレンジベースのホームページを新設しました！ <https://nekkosaki.wixsite.com/challenge-base>

改めてサキの自己紹介、活動の目的なども書いていますのでぜひご覧ください。

#### 支援者の皆様へ

日ごろよりご支援いただきありがとうございます。2021年も活動を続けることができたのは、支援者の皆様のおかげであり、心より感謝しております。この場でしか感謝を伝えることができず、申し訳なく思っております。2022年もどうかこのプロジェクトと、子ども達の成長を温かく見守っていただけますと幸いです。チャレンジベースの名に恥じぬよう、挑戦を続け、私たちの活動が、少しでも皆様に還元できますよう努力致します。

年間5千円以上のご寄付をいただいた方でご希望者には、アエタ族の子ども達が、お名前(個人名、企業名、店名など)と日本語で一言喋る動画を作りお渡ししております。お渡しした動画はご自由にお使いください。詳細をお知りになりたい方、動画をご希望の方はご連絡いただけますと幸いです。

# Challenge Base

2021年 12月 No.5

発行 特定非営利活動法人 NEKKO

住所 Manggahan, Resettlement, Mangan-Vaca, Subic, Zambales, Philippines

メール nekko.saki@gmail.com

## 2021年 チャレンジベースの挑戦！



### 日本語のメッセージ動画を作成しました

ご支援のお礼に、子ども達が日本語を喋るメッセージ動画を作りました。カメラの前で堂々と顔をあげ、日本語を喋ることができました。出会った頃の彼らでは全く想像できません。



### 新たに3つの村に、勉強を教えに通い始めました

しかし道のりが険しく、バイクで行くには限界があり、7月の雨季で川が増水してから、プワグ村、パヨッドブド村にはいまだに行けていません。カキリガン村は毎週通っています。



### 人前に入る前に水浴びするようになりました

容易に水浴びができるおかげで、見た目のみすぼらしさに対する劣等感がなくなりました。大人も子どもも村人以外との関わりが上手になり、交流が積極的になりました。



### プロジェクターの導入で、英語を覚えてきました

英語教材の観賞により、動物や食べ物などの英単語を少しずつですが覚えてきました。また子ども達から「これは英語で何て言うの？」と聞かれることが増えました。



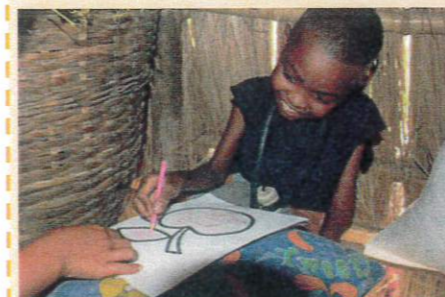
### 井戸があるから、手を洗う習慣ができました

チャレンジベースの前に井戸ができ、手足が汚れた時にすぐに洗える環境になりました。クラスに参加する前に手を洗って泥を落とすのが習慣になってきました。



### チャレンジベースの床にボードゲームを描きました

サイコロを振って出た数を進み、ゴールを目指す単純なゲームです。1～100まで数えたり、足し算の感覚が楽しく身につきます。また色の名前の勉強になります。



### 弱き者たちが続々とチャレンジベースに参加してくれています

3年間声をかけ続け、ようやく色鉛筆を持ってくれた少年。たどたどしい手ですが、人生初の色鉛筆と塗り絵で笑顔を見せてくれました。



### 勉強が大好きな子どもが増えたくさん勉強しました

子ども達が勉強したプリントは、一人分づつ束にして、冊子のようにして子ども達に返します。イパッドだけの半年分ですが、まだまだこれの他に3倍の束があります。



### いつも子ども達の笑顔がさく裂していました！

何よりもいつも全力で走り回り、楽しい時は全力で笑い転がっていました。その中でたくさんの挑戦と経験をつみ重ね、ひとりひとりが成長することができました。



○地形が変わりアエタ族は集落ごと移動の準備が始まっている



村へ向かう途中の何もなかった砂漠に、8月から道路と電柱の建設作業が始まりました。まだ建設途中ですが、十数キロ先の町まで山を切り崩して道路が作られる予定で、砂漠にはソーラーパネルが設置されます。山にはアエタ族の集落があり、道路にぶつかる集落は立ち退きを余儀なくされます。

○公的機関での手続きができずに社会から排除されていく

ここ2~3年の間に、イバッドでも出生届をするのが一般的になってきました。理由は出生届をしていないと義務教育が受けられない、給付型の奨学金がもらえない、2020年に始まったナショナルIDの発行(日本のマイナンバー制度に似たようなもの)がされない、選挙権がない、その他自治体からの食料などの支給物資がもらえないなど山に暮らすアエタ族にとってもデメリットが大きいからです。

また定期的な助産師による健診でも積極的な病院受診を薦められ、大量の薬を渡されます。お産も山での出産は禁止であると強く言われているため、病院受診が増えました。それに伴い役所での手続きや病院での受付作業が増えました。その結果、名前を書けないアエタは、村に助産師が検診にやってきても、表に出て来られなくなりました。また子どもの入学手続きに学校に行っても、親が名前を書けなかったり、受け答えがしっかりできない人は、入学を断られています。

7月には3週間の間に子どもを含む4人の村人が亡くなりました。バカにされるのではないかとこの恐怖が先にたっついてしまい(実際バカにされます)、手遅れになるまで病院に行けなかったのです。病院や公的機関へのアクセスが以前に比べ身近になった一方で、アエタ族の中で格差ができています。

○スマートフォンに夢中で仕事をしなくなった

児童手当などで現金が入るため、ここ数カ月でアエタでもスマートフォンを持つ人が増えました。高い木の上や山に登ると多少の電波があるので、ゲームをしたり動画を見て遊んでいます。特に学校に通っていない(ほとんどは小学校で不登校になり、勉強をやめてしまった)、結婚する前の10代後半です。

以前なら家畜の世話をしたり、下の妹弟の面倒を見たり、魚を採ってきたりしていたのに、スマートフォンを入手してからは、ほとんど家の仕事をしなくなり、家族内で揉めている姿をよく見かけるようになりました。

読み書きができなくても家族の中での役割はたくさんあったのに、働き手となるべき世代が仕事をしなくなるということは、家畜の世話や畑仕事などをする人がおらず、家族の収入元が途絶えてしまうことを意味します。

過渡期の狭間で置き去りにならない強さを育てる

2歳ごろに背中に傷を負ったタンコイくん。いまだに治らず、常に汁が流れ出ている状態が5~6年続いています。最近急激に傷が腫れ(大人のこぶし大)、弱って歩けなくなり、何もしなければ数日で死ぬだろうという状態でした。両親は共に字が書けず、フィリピン語でのコミュニケーションもなかなかとれません。他の人からも助産師による検診、病院受診を薦められていましたが、本人、両親とも恐怖心が先立ち、受け入れることができず、タンコイくんはただただ痛みを耐えるしかありませんでした。

こちらからできるのは、抗生剤を渡し、お腹に手を当てて血流をよくするだけで、それ以上の処置は受け入れられません。最初は手を当てることさえ許してくれず、それでも手を置いている私を見て、両親は訝し気でした(アエタ族は嫌がることはさせない文化があるからです)。しかし手を置くだけでも効果があることが理解できると、本人が嫌がって抵抗する手を押さえて、両親は私に処置を依頼するようになってきました。



少し元気になったタンコイくんを見て、両親は治るかもしれないという希望を見つけ、子どもが嫌がっても言い聞かせて処置を受けさせるという、強さを見せてくれました。親が強気でいれば、子どもも勇気が出ます。

まだまだタンコイくんの傷は大きく、全く余談は許さない状況です。できる処置が限られているので、完治までは長期戦になりますが、信頼関係を壊さないよう、また彼自身が少しでも強く成長できるよう関り、完治を目指したいと思います。



イバッドへ向かう道は、川からの水が流れ込んできます。雨季になり数週間雨が降り続けば、イバッドまで水が到達する状態で、すでにどのうちも山の高台に家を建てています。



助産師による妊婦検診。怒られる勢いで指導されるので、すぐでうつむいてしまう。



携帯で遊ぶお兄ちゃんと画面を覗きこむ子ども達

大人も子どもも名前の練習に挑戦です!

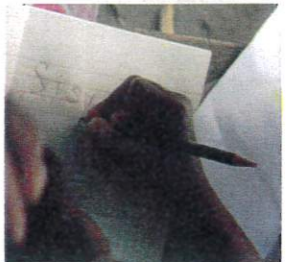
村人の半分以上は名前が書けません。名前が書けるか書けないかは、本人の人生だけではなく、次世代までもが影響を受けてしまうほど大事です。例えば名前が書けない場合、子どもが生まれた時に出生届をすることができません。必然的にその子ども達は学校に入学するチャンスがなくなり、実質病院に行けないということを意味しています。過渡期である今こそ、せめて名前は書けるようになってもらいたい!

最近子どもたちは名前の練習を頑張っています。名前の練習をする際には調布 WAT さんが、裏紙にローマ字練習用の4本線を書いてノートにくださったものが、とても役立っています。子ども達の名前を書き、なぞる練習から始めています。新しいことに挑戦するのに時間がかかる子どももいるので、ローマ字というだけで躊躇してしまい、名前の練習に手を出せずにいる子どももいますが、それぞれのペースで取り組んでいきます。

そしていよいよ大人たちの名前の練習を始めます! 実は名前を書けるようになりたいと感じていた大人は予想以上に多く、20歳前後の子育て世代から中心に始めていきます。

柳ヶ浦高校インターアクトクラブの皆さんが、楽しく名前の練習をできるように、対象の名前を書いた練習用紙を作ってくださいることになりました。新しい試みに私もワクワクでいっぱいです。

チャレンジベースの勉強は賢くなるための勉強ではありません。必要な時に医療ケアを受けられる、公的サービスを受けられるための勉強です。そして何よりも自分のことが好きになり、人を恐れず自信を持って人と関わることができるための勉強です。その一環の名前の練習です。



車を購入しました! 維持費用 プロジェクト費用のご支援をよろしくお願いします。

地形が変わっていることから、川の増水やそれに伴う地面のえぐれ具合がひどく、バイクで村に通うのがかなり限界に近づいています。またイバッド村に水が流れこむと、チャレンジベースの建物の周辺も沼地のような可能性が高く、イバッドで寝泊りするのにも難しくなることが予測されます。村人はすでに、山の奥地の高台に家を建てています。車があれば、集落が移動してもどこでも追いかけて勉強をすることができます。

また今年から通い始めた新たな村3つのうち、2つの村は川の増水によりバイクで行くことができず、7月を最後に訪れることができおりません。そのため砂漠地でも川でも走行できる車で村を訪れ、勉強を教えようと考えています。また時期を見ながらまだ通えていない村にも入り、勉強を教えるのと同時に、病院へのアクセスが難しい村で巡回診療も行う予定です。

この数カ月の間にスマートフォンが普及し始め、新たな道路建設が始まり、ものすごい勢いでアエタを取り巻く環境が変わっています。ここから数カ月がアエタ族にとって勝負の月になると考えております。すでに半年もブランクが空いている村もあり、これ以上何カ月も待つことはできないという判断で12月に自費で車を購入しました。今までは平日は村で寝泊りしていましたが、1月からは車移動で毎日村まで往復する活動となります。

基本的にオフロードを走行することを考え、安全面に配慮しかなり改造された車です。また砂漠地や岩地、川を走行するため消耗が激しく、常に壊れた部品の修理、交換が必要です。このプロジェクトにかかる経費はおおよそ下記の通りです。

ガソリン代	5万円	(1日2000円×週5日×4週+緊急走行)
ドライバー人件費	3万円	
プリントなどの教材、コピー費	1万円	
車のメンテナンス費	その他	3万円
		計12万円/月

その他初期費用としてジャッキや工具などの装備品、車両登録費用、予備のタイヤなども含め、当面の活動費として**目標金額 150万円**



ご支援のお礼と報告

- ・お礼状をお送り致します。
  - ・ご希望の方には子ども達からお礼のメッセージ動画をお送り致します。
  - ・日々の活動の様子の動画を各種 SNS に載せます。
  - ・毎週日曜日のオンラインお話会で活動の様子をご報告致します。
- その他ご不明な点をご連絡いただけますと幸いです。

店名	店番	記号	番号	預金種目	口座番号	振込宛先
099	099	00960-8	321736	当座預金	0321736	NEKKO

お振込みはスマホからオンラインでできる、ネットバンキングが便利です。

※お礼状をお送りするのに、ご支援いただいた方は御一報いただけますと幸いです。